

## 会話のできない家族

二年 石切山桃佳

「君達の声が聞こえたら良いのにね」ある日、母は飼っている猫のモカとラテを撫でながら呟いた。私  
が「どういう事？」と聞き返すと母は「だってこの子達は体調が悪くても辛いよ。痛いよ。とも私達に伝  
える事が出来ないんだよ。」と言った。その言葉を聞き、私は、確かになと思った。我が家には、現在6匹  
の猫がいるが、もちろん会話は出来ない。私も度々、この子達と会話してみたい、会話が出来たら楽し  
いだろうな。と思う事があった。

母との会話から私は、昨年テレビニュースで見た、ある事件を思い出した。長野県で起ったペット繁殖  
業者による動物虐待事件だ。このニュースを見た時、なんて悲しく残酷な事件なんだ。と言葉を失った。  
同時に私は、怒りを覚えた。四百五十二匹もの犬を劣悪な環境で飼育、そして虐待。虐待されて命を  
失った犬たちは、人には伝わらない悲鳴をどれだけあげていたのだろうか。そう考えるだけで胸が痛  
くなる。この事件を詳しく知りたいと思い、調べていくと、女優の杉本彩さんの記事を見つけた。杉本  
さんは、日本を代表する動物愛護活動家だった。この事件についても、たくさんの署名活動などを行っ  
ていた。その中で杉本さんは、このペット業者の虐待行為について「悪魔の所業」と言っている。私はこ

の言葉に深く共感した。

私は、この様な事件を知る度に思う事がある。人間が人間の命を奪えば罪になる。しかし、人間が動  
物の命を奪っても厳正に裁かれる事はとても少ない。とても悲しい事だが、それが現実だ。動物の命と  
私達人間の命の違いは何だろうか？いや、違いなどないはずだ。大小関係なく命は平等に与えられてい  
るものだと私は思う。小さな彼等は、きつと私達にずっと何かを伝えているんだと思う。会話は出来な  
くとも必死に色々な感情を私達に訴えている。母が言った通りに動物が人間の言葉を話せたら、もっ  
と多くの小さな命を救う事が出来るのかもしれない。だけど彼等とは会話する事は出来ない。だから  
こそ、私達人間は、その小さな訴えにもっと耳を傾けてあげなければいけないと思う。現在、動物を飼  
育してる人、もしくはこれから新たに飼育を考えている人に私は伝えたい。

「その子の声にならない言葉に、あなたは耳を傾ける事が出来ますか？」